



市報

CONTENTS  
主な内容

合志新市長にインタビュー  
分別収集で進むごみの資源化

2002 6/1 NO.1317

JUNE

Communication Paper Yamaguchi



●発行/山口市 〒753-8650山口市龜山町2-1 ☎922-4111  
●ホームページ/<http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/>

●編集/企画財政部広報広聴課 ☎934-2753  
●Eメール/[koho@city.yamaguchi.yamaguchi.jp](mailto:koho@city.yamaguchi.yamaguchi.jp)

●印刷/株式会社マルニ  
古紙配合率100%再生紙使用

市民参加企画

合志新市長にインタビュー

# 21世紀のモデル都市『西の京やまぐち』と、 県央部中核都市の実現を。

第23代目の山口市長として、5月13日に初登庁した合志栄一新市長。市長に就任しての感想、これから4年間の抱負を語ってもらいました。聞き手は、「地域のお姉さん」として、子どもたちとイベントを企画・実施している市民活動団体「やまぐち子ども元気ネットワーク」の清地愛子せいちあいこさんです。

今は、市長の責任のおもさをズシリと感じています

清地—市長就任おめでとうござい  
ます。初登庁されての感想は。

市長—就任の日は、天気も良くて、多くの市民、職員に迎えられ大変うれしかったです。市長のいすに座ると同時に責任のおもさをズシリと感じています。

清地—これからの山口市をどうイメージしていますか。

市長—山口市を21世紀の「西の京やまぐち」、21世紀のモデルになるような都市にしていけたらと思います。「西」は、原因が結果として実を結ぶところという意味があるんですよ。西の京という場合に、山口市が、人類の英知がまち

の在り方として実をむすぶところになればと考えています。

これからの都市は、「命が豊かに育つ」機能を

これまでの都市の役割は、主に物の生産、物流拠点でしたが、21世紀の都市は、「命が豊かに育つ」、そういう機能をもつべきではないかなと考えます。山口市は、自然も豊か、都市機能も備わっている、歴史文化も残っている中で、十分これからのモデル都市になれる可能性があり、それを実現したいですね。

その実現のために、市の職員には、自分の受け持っている分野の職を高い水準で取り組むようにと話をしています。



合志栄一市長

熊本県出身。山口大学経済学部卒。29歳で山口市議会議員に初当選、山口県議会議員を経て、この度、山口市長選で第23代目の山口市長に初当選。歴代市長で一番若い52歳。妻・長女・長男の4人家族。剣道はかなりの腕前。

清地—市長さんにとって山口はどのようなところですか。

市長—ホッとする、または、包み込むような雰囲気があります。最近では「いやし、やすらぎ」が重要視される中、時代のニーズに相應る雰囲気をもったまち、住みやすさがあるのではないのでしょうかね。

清地—私は、「適度に田舎、適度に都会」だと思います。新しいものをとりいれる余地もあり、古いものも大切にすまち。そして、県庁所在地として都市機能があり、自分たちが活動する上で、いろいろなアプローチができる場所だと感じています。



聞き手 清地愛子さん（山口県立大学大学院生）  
平生町出身。「やまぐち子どもセンター（防長青年館）」  
で、ボランティアとして、情報誌などを発行。昨年、  
その仲間たちと、子どもが主体的にイベントを企画し、  
実施する団体「やまぐち子ども元気ネットワーク」を  
結成。お姉さんの存在として活躍中。

## 中園町の見直しをやり遂げることが一番の関心事

清地―市長さんが今一番関心をもたれていることはなんですか。

市長―仕事面でいえば、やはり中園町の山口情報芸術センターの見直しですね。一定の期間で見直しをやり遂げる必要がありますから、一番の関心事です。

清地―見直し委員の募集を見ましたが、見直しはどう進んでいくのですか。

市長―これまでは専門的な見地の論議が行われてきましたが、やはり、市民的な理解と支持がいります。市民の負担で建設、運営し

ていくものなので、市民的な論議を経て、施設が建設、運営、活用されればと考えています。今まで以上に「市民のための施設」になるための見直しなんですよ。

一般公募の市民60人と、芸術家、学識経験者など40人のあわせて100人で構成する「見直し市民委員会」で、市民的な論議を大いにしてもらいます。そうすれば、必ずいいところに意見が集約されるはずですよ。

私事の関心事といえば、当たり前のことですが、市長になったことでその仕事の責任をいかに果たしていくかが24時間関心事ですね（笑）。

清地―市民により近い目線で市政に取り組みたいというお話を聞いていますが。

市長―市民の目線にたった市政を運営していこうと、職員にも就任式で話していますが、まず、自分が、市民の目線でという観点を忘れないように心がけます。

## 富を生み出すためには「民」が元気になる

清地―市長さんのいう「官」から「民」への構造改革ってどういうものなんですか。

市長―市民のみなさんのために

ろいろな施策をするにしても財源がある。財源は市民の税金で、税金は所得からでしょ。だから、所得、富を生み出し続けるまちでないといけないと考えています。「官」の仕事も大切ですが、やはり富を生み出す「民」が元気になるないといけない。比重を少し官から民へ移して、市民のみなさんが活発に動け、力を発揮できるようになればと考えています。

## 県中部中核都市づくりは大きな課題

清地―最近、ニュースなどで「合併」「中核都市づくり」が話題にあがっていますが。

市長―県中部中核都市づくりは大きな課題です。現在、2市4町の枠組みでは、民主導の県央中核都市建設協議会が活動を進めています。近隣市町長、議会との意志疎通を図りながら中核都市を実現していきたいです。

地方分権の流れの中、魅力あるまちづくりを進めるため、受け皿としてそれなりの能力を持った自治体を形成していくことが必要です。それにより、独自のまちづくりや市全体の活性化になります。社会資本充実、住民へのサービスが高まり、結果として地域住民の

よりよい暮らしにつながります。これまで合併議論は、どちらかといえば、行政改革、経済的合理性から議論されてきましたが、これからは、生活者の視点に立った議論が必要になります。市民のみなさんにも理解していただけるよう手法等を研究していきます。清地―私たち市民も勉強しなければいけませんね。

## いろいろな人が関われる場を提供していきたい（清地）

市長―最後に、私が清地さんに質問してもいいですか。これからの目標は？

清地―住民としての自分の目線だけでなく、広い視野で地域を見れるようになりたいです。そして、地域を支えていけるような活動の場を作っていく立場になりたいです。これまで多くの人にいろいろな経験をさせていただいたので、今度は、自分が、いろいろな人が関わっていけるような場、しかけづくりをしていきたいです。

市長―清地さんのような若い人が、山口でがんばられているのはとてもいいことですし、うれいんです。将来に期待がもてます。

清地―市長さん、今日はありがとうございました。



# 分別収集で進むごみの資源化

平成13年度は7757トンのごみを減量！

## 分別収集等でごみ減少

山口市では、市民の皆さまのご協力を得ながら「山口市リサイクルプラザ」を拠点にごみの減量と資源化に取り組んでいます。平成13年度は、紙製・プラスチック製容器包装の分別収集も開始されるなどごみの資源化が着実に進み、可燃ごみ・不燃ごみとも前年度より減少しました。今回は、ごみ減量への道のりを分別収集の実績から紹介します。あわせて、資源物の出し方について改めて復習してみましょう。

これまで、市では分別収集を進めることで、ごみの排出量を削減することに取り組んできました。平成13年度は、不燃ごみ・可燃ごみ合わせて、7757トン減少させることができました。

不燃ごみは、前年に比べ7203トン、率にして約27パーセント減少しました。家庭からの不燃ごみは、前年に比べ1732トン減少しています。これは、缶・びんの分別収集が前年に比べ165トン増加したことに加え、家電リサイクル法でテレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコンのリサイクルが義務化されたことによると考えられます。また、事業所や家庭から持ち

込まれた不燃ごみは、前年より5471トン減少しています。これは、可燃ごみの焼却灰を徳山の山口エコテック（株）で、セメント原料にリサイクルすることに決めたことが大きな要因です。

可燃ごみは、前年に比べ554トンの減少になっています。家庭から、可燃ごみを2万6228トン収集。前年に比べ1698トン減少しています。これは、ペットボトル、古紙、紙製・プラスチック製容器包装の分別収集が進んだことによるものです。事業所や家庭から持ち込まれた可燃ごみは、2万1235トンで、こちらは144トン増加しています。

平成13年度は、一人あたり約60キログラムのごみが削減されたこととなります。

ごみ収集実績の推移 (単位: トン)

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
収集人口(人)	133,686	134,652	135,745	136,589	137,413	137,825
可燃ごみ	一般家庭	31,475	32,510	30,705	29,367	26,228
	持ち込み	9,418	10,491	12,793	17,638	20,091
	計	40,893	43,001	43,498	47,005	48,017
不燃ごみ	一般家庭	6,897	5,524	5,386	6,085	6,293
	持ち込み	20,528	19,309	18,098	19,788	20,069
	計	27,425	24,833	23,484	25,873	26,362
合計	68,318	67,834	66,982	72,878	74,379	66,622

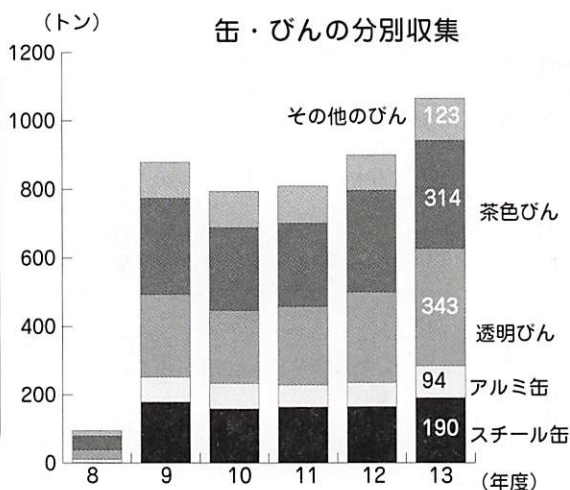
## 着実に進む分別収集

山口市では、缶・びん、ペットボトルと古紙(新聞・雑誌・段ボール)、紙製・プラスチック製容器包装の分別収集を行っています。分別することで、資源としてリサイクルを進めています。

### ◇缶・びんの分別収集

平成9年2月から開始した缶・びんの分別収集。平成13年度には、缶・びん合わせて1064トンが収集されています。

缶・びんの分別収集



### 缶・びんを再チェック

- 食品や飲料水の缶やびんですか
- 中を水洗いしてありますか
- たばこなどが入っていませんか
- 缶は緑のコンテナに
- 透明びんは白いコンテナに
- 茶色びんは茶色いコンテナに
- その他のびんは青いコンテナに

缶・びんの収集は月1回です。

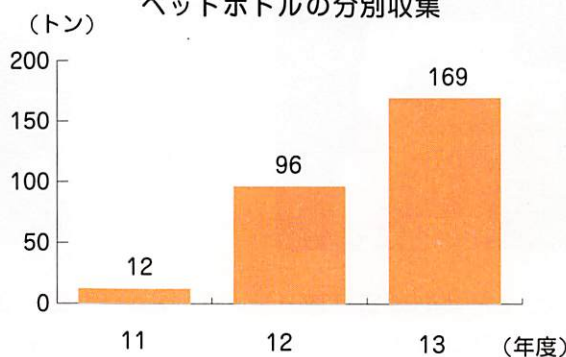
収集日は、市報15日号や「ごみ・資源収集カレンダー」で確認。午前8時30分までに、各地域の収集場所に出してください。

### ◇ペットボトル・古紙の分別収集

平成12年1月から開始したペッ

トボトル、古紙の分別収集。ペットボトルの収集は、着実に進んでおり、平成13年度には169トンが分別収集されています。

ペットボトルの分別収集

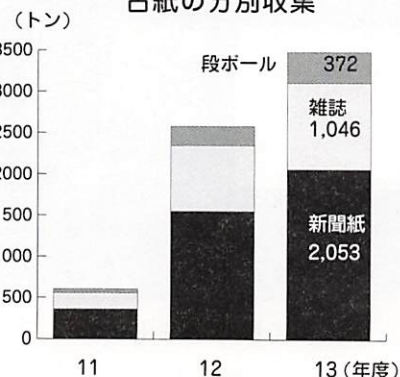


### ペットボトルを再チェック

- 清涼飲料水、しょうゆ、酒類(本みりんも含む)のペットボトルですか
- ふたは、はずしてありますか
- 中を水でよく洗ってありますか
- ボトルはつぶしてありますか

古紙は新聞・雑誌・段ボールを分別収集しています。その収集量は順調に伸び平成13年度は、3471トンが分別収集され、前年度に比べ896トン増加しています。

古紙の分別収集



### 古紙の出し方を再チェック

- 新聞、雑誌、段ボールは分けてありますか
- 紙ひもで束ねましたか
- 新聞はA4サイズに折ってありますか
- 束ねる厚さは30センチを目安に
- 週刊誌・月刊誌などですか
- 束ねる厚さは30センチを目安に
- 段ボールは間に波形の芯が入っていますか
- 金属・ガムテープ・ビニールひもは取り除きましたか
- 1メートル位にたたんでますか

ペットボトル・古紙の収集は月に1回。市報15日号や「ごみ・資源収集カレンダー」で確認ください。収集日の午前8時30分までに出してください。

◇その他の容器包装の分別収集  
 その他の容器包装には、紙製とプラスチック製のものがあり、昨年4月から分別収集が開始されました。昨年度は、紙製容器包装16.9トン、プラスチック製容器包装6.34トンが収集されました。

その他の容器包装を再チェック

紙製容器包装は

- 段ボールは混ざっていませんか
- 紙製の容器や包装ですか
- ビニールひも等はとりましたか
- 封筒やはがきはとりましたか
- 汚れがついていませんか
- 紙ひもで十字に束ねましたか
- 収集日は古紙・ペットボトルと同じ日です。

プラスチック製容器包装は

- ポリ袋・ラップ類・トレイ・パック類・チューブ類・カップ類・ボトル類・ふた類ですか
- 水できれいに洗ってますか
- バケツ・洗面器など商品そのものが混ざっていませんか
- 硬いプラスチックは混ざっていませんか
- 透明なビニール袋に入れましたか
- 収集日は、週1回です。市報15日号や「ごみ・資源収集カレンダー」でご確認ください。

紙パックを収集開始

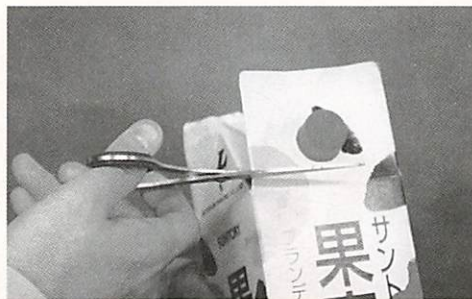


牛乳パックなどの紙パックの分別収集を6月から開始します。

紙パックは、これまでスーパーの店頭などで、拠点回収を行ってきましたが、このたび、ペットボトル・古紙の収集日と同じ日に、分別収集をすることにしました。ただし、その他紙製容器包装とはリサイクルの方法が違うので、紙パックだけを紙ひもで束ねて出してください。パックの内部がアルミ箔で覆われている物は、紙製容器包装に分別してください。

なお、牛乳パックとジュースのパックで1リットルと500ミリリットルのものは、店頭で拠点回収を続けていきます。

紙パック分別の仕方



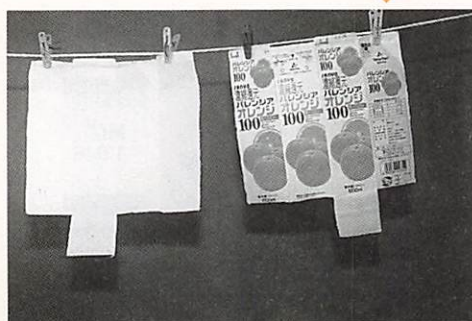
ふた付き

ビニール製のふたなどは必ず切り取りましょう。ふたは、プラスチック製容器包装に出しましょう

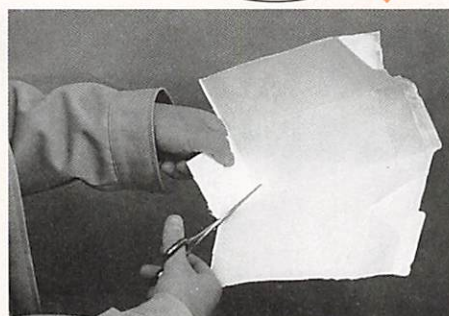


空になったパックは水できれいに洗いましょう

ふたなし



パックはよく乾かしましょう



パックははさみで切り開きましょう

## 資源物の引き渡し先

市民の皆さんの協力で分別収集された資源物は、指定法人ルートで選定された事業者と市が独自に選定した事業者に引き渡し、再資源化されています。

指定法人ルートとは、財団法人日本容器包装リサイクル協会が引き取り事業者を入札で決定しているものです。

### 指定法人ルート

その他びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装は、指定法人ルートで事業者に引き渡されリサイクルされます。

### その他びんのリサイクル

その他びんは、株式会社 原弘産 エコネット（下関市）に引き取られ砕かれてカレットと呼ばれる状態にされ、街路舗装材料として使われます。

### ペットボトルのリサイクル

ペットボトルは、帝人株式会社 徳山原料工場（徳山市）で、作業服等の繊維原料、包装材料、カーペット等によりリサイクルされます。

プラスチック製容器包装のリサイクル

プラスチック製容器包装は、新日本製鐵株式会社 八幡事業所（北九州市）に運ばれ炭化水素油や製鉄用のコークス、コークス炉ガスとしてリサイクルされます。

### 紙製容器包装のリサイクル

紙製容器包装は、株式会社宮崎大分営業所（大分市）に運ばれ紙製原料や固形燃料によりリサイクルされます。

### 直接引き渡し

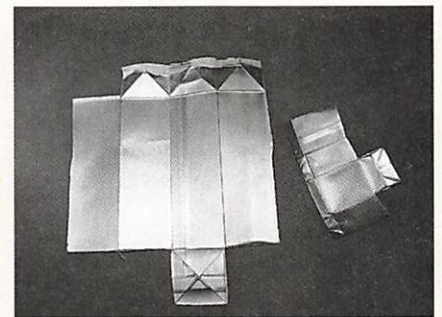
透明・茶色びん、缶、古紙は、市が直接事業者に引き渡しリサイクルされます。

### 透明・茶色びんのリサイクル

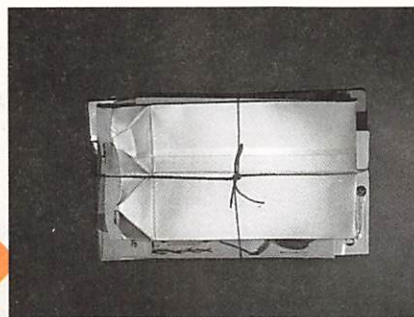
透明と茶色のびんは、広島容器株式会社（広島市）に運ばれ、カレットとしてびんの原材料にリサイクルされます。

### 缶・古紙のリサイクル

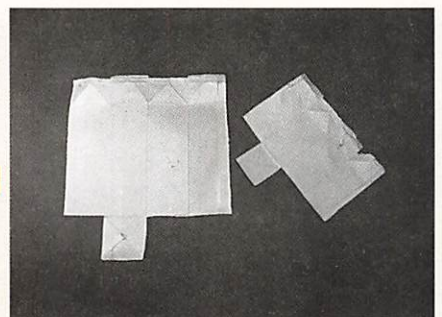
アルミ缶・スチール缶、新聞・雑誌・段ボールは山口市リサイクル事業者組合（山口市小鯖）に引き取られます。アルミ缶は、アルミ製品に、スチール缶は、建築用資材にリサイクルされます。また、新聞・雑誌・段ボールも山口市リサイクル事業者組合に引き取られ、紙製原料にリサイクルされます。



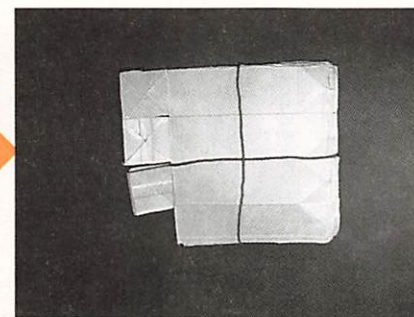
内側にアルミが貼ってあるものは紙製容器包装です



アルミが貼ってあるものは、お菓子の箱など紙製容器包装と一緒に紙ひもで束ねましょう



アルミが貼ってないものが紙パックです



紙パックだけを分別して、紙ひもで十文字に束ねましょう



古紙・ペットボトルの収集日に紙製容器包装のコンテナに入れましょう

# 平成12年国勢調査確定値まとまる

山口市の人口は14万4477人、平成7年調査より4868人増加。依然続くドーナツ化、核家族化、少子高齢化の傾向。

平成12年10月に実施した国勢調査について、第1次基本集計結果（確定値）並びに小地域集計結果（地区別）の公表資料がまとまりました。公表内容としては、人口、世帯数、各年齢別の人口などで、労働力、就業者および教育などの集計等については、今後資料がまとまり次第随時公表します。

## 【人口増、実数では県下第1位】

平成12年10月1日現在の山口市の人口総数は、14万4477人で、前回調査（平成7年）と比較すると4868人、率では3・6%の増加となっています。

県全体では人口が減少しているなか、増加したのは山口市を含めた1市6町となっており、山口市は実数では県下第1位、率では第3位となっています。

世帯数についてみると、5万5904世帯で、前回と比較すると、4171世帯、率にすると8・1%の増加となっており、依然として増加傾向が続

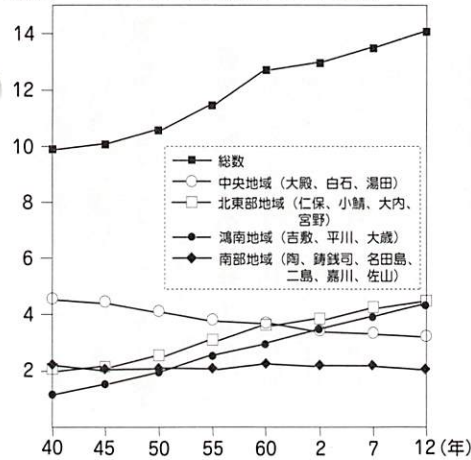
ています。

## 【依然続くドーナツ化現象】

地域別人口は、鴻南地域・北東部地域では増加し、中央地域・南部地域では減少しています。

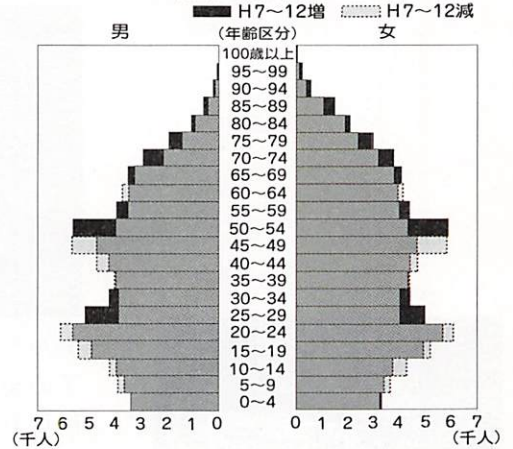
また地区別で見ると、人口が増加しているのは6地区で、大内、吉敷、平川、大歳、宮野、佐山となつています。逆に減少している地区は10地区で、白石、湯田、大殿等となっています。中心部で人口が減少し、その周辺部へ人口や世帯の分布が移っていくという「ドーナツ化現象」が、今回の調

<図1>地域別人口の推移



<図2>人口ピラミッド (平成7・12年)

※100歳以上「不詳」含む



査でもはつきりとあらわれています。

## 【さらに進む少子高齢化】

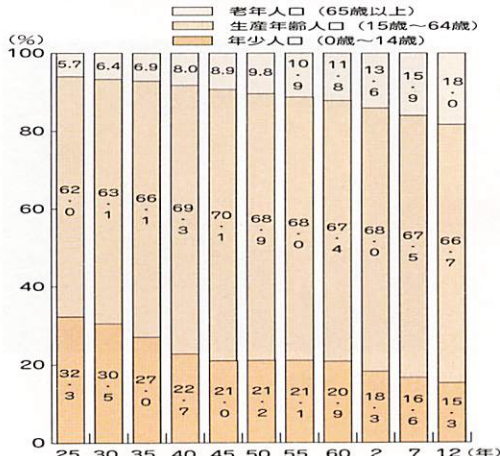
人口ピラミッド△図2Vをみると50～54歳代（「団塊の世代」と20～29歳代（26～29歳「団塊ジュニア世代」）をピークに、基底部分の狭まった、ひょうたん型に近い形となっています。

年齢別構成比△図3Vをみると、今回はじめて老年人口が年少人口を上回りました。10数年後には「団塊の世代」が老年期に達するため、少子高齢化がさらに進むと思われる。

## 【核家族化が進行、増え続ける高齢者単身・夫婦世帯】

1世帯あたりの人員は、今回2・43人と、平成2年2・70人、

<図3>年齢別構成比 (総数)



※詳細なデータ、図、表等について必要な方は、市企画調整課統計担当（市役所2階 ☎ 3412748）までお問い合わせ下さい。

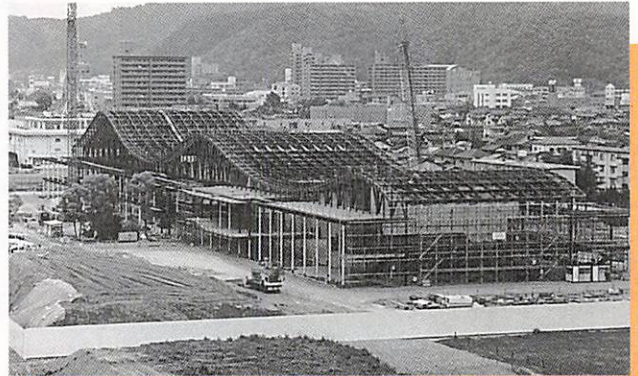
平成7年2・54人に引き続き減少し、世帯人員別の構成比をみても1人世帯が35・3%と最も多く、以下、2人、3人、4人、5人以上の世帯の順となっており、核家族化の進行がより顕著になってきています。

また、高齢者（65歳以上）単身世帯の伸び率（29・1%）は世帯総数の伸び率（8・1%）を大きく上回っており、調査ごとに増えていく傾向にあります。高齢夫婦世帯（夫65歳、妻60歳以上）の伸び率も同様に増加が続いています。

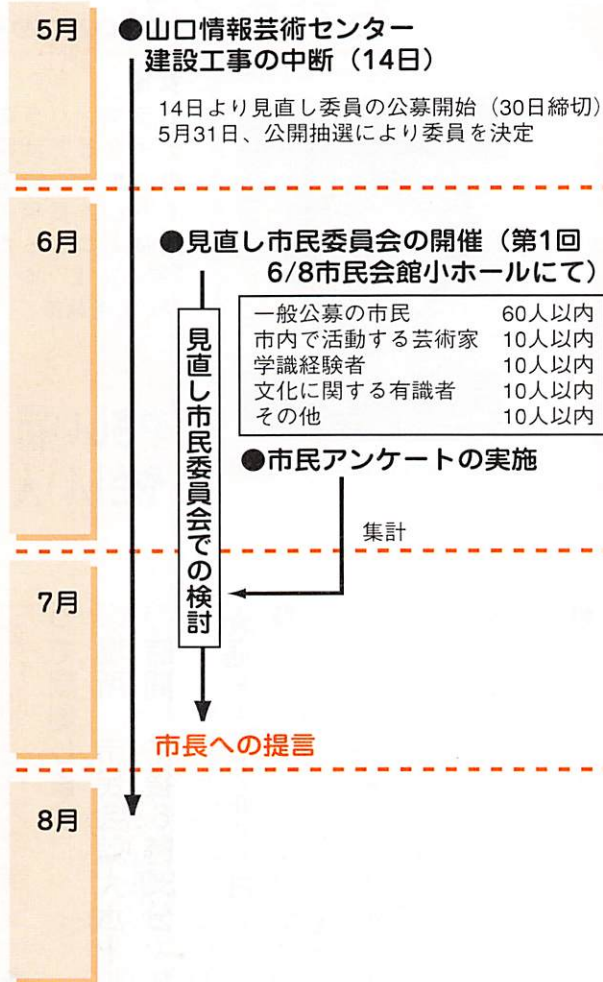


# 山口情報芸術センター見直し

山口情報芸術センターの建設については、5月14日より工事を一時中断し、一般公募による市民の方々をはじめ、芸術関係者や学識経験者などからなる「見直し市民委員会」を設置し、市民の皆さんと共に見直しを進めていきます。



5月14日から工事を一時中断している山口情報芸術センター（中園町）



## 見直しに向けたこれからの予定

一般市民や専門家など、約100人で構成される見直し市民委員会は、6月8日に市民会館小ホールで第1回の会議を予定しています。なお、会議は「公開」とします。

別途行うアンケート調査については、集計結果を早期にまとめ、見直し市民委員会でも活用していきます。

## 市民アンケートを実施

見直し市民委員会と共に、より多くの市民のみなさんの意見をお聞きするため、無作為に抽出した市民の方々を対象に、アンケートを次の要領で実施いたします。みなさまのご協力を心よりお願い申し上げます。  
※アンケート集計結果は市報で公表します。

### 調査方法

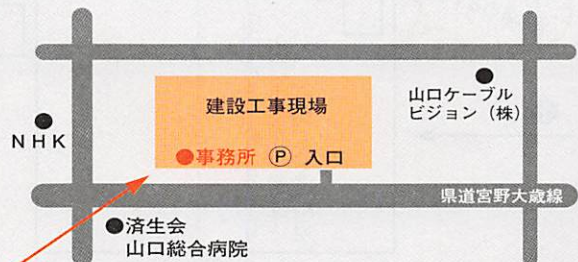
平成14年5月23日時点の住民基本台帳をもとに、無作為に抽出した18歳以上の市民の方々を対象に、本人宛にアンケート調査票を郵送します。

## 山口情報芸術センター建設工事現場見学会

工事の概要や建物の構造などを実際に見ていただくため、次の日程で市職員の説明による建設工事現場の見学会を行います。申込不要で、どなたでも見学できます。

◇日時 6月3日（月）～9日（日）午後1時～4時  
※1日に3回（1回約1時間 ①13:00～②14:00～③15:00～）

◇集合場所 建設工事現場事務所前



山口情報芸術センター見直しについてのお問い合わせは市文化振興課（☎934-2718）へ

# 北野 大 きたのまさる

工学博士・タレント  
専門は環境化学で、淑徳大学国際コミュニケーション学部教授を務める。映画監督北野武氏の実兄。



8/16(金)

やりたかった二番目のことを大切に!

# 鈴木光司 すずきこうじ

作家  
「リング」「らせん」など多くのベストセラーを生む。自称『文壇最強の子育てパパ』として子育て体験を語る。



6/27(木)

パートナーシップと子育て

## 第12回

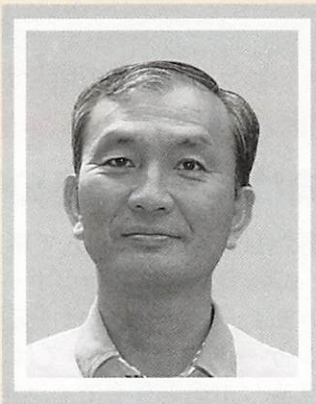
# 市民大 学

来て・観て・学んで

# 講座

## 成島悦雄 なるしまえつお

上野動物園獣医  
園で動物の健康管理にあたるのと同時に、佐渡でトキの保護にも従事。パンダやコアラの受け入れ担当も経験。



8/26(月)

大人も楽しめる動物園をめざして

## 石井めぐみ いしいめぐみ

女優  
ドラマ、バラエティなどで活躍中。また、障害をもった長男の成長をつづった「笑ってよ、ゆっぴい」を執筆。



7/23(火)

やさしい街 やさしい人

「第12回市民大講講座」を6月27日(木)から4回にわたって開催します。

◇場所 市民会館大ホール

◇時間 午後6時30分～8時(午後5時50分開場)

★通し券 2000円

①往復はがきに必要な事項(下図参照)を記入のうえ、6月12日(水・必着)までにお申込みください。

②引換券を送付します。(応募者多数の場合は抽選)

③引換券と代金を持参し、販売場所(下図参照)で購入してください。引換期間は6月13日(木)～6月21日(金)です。

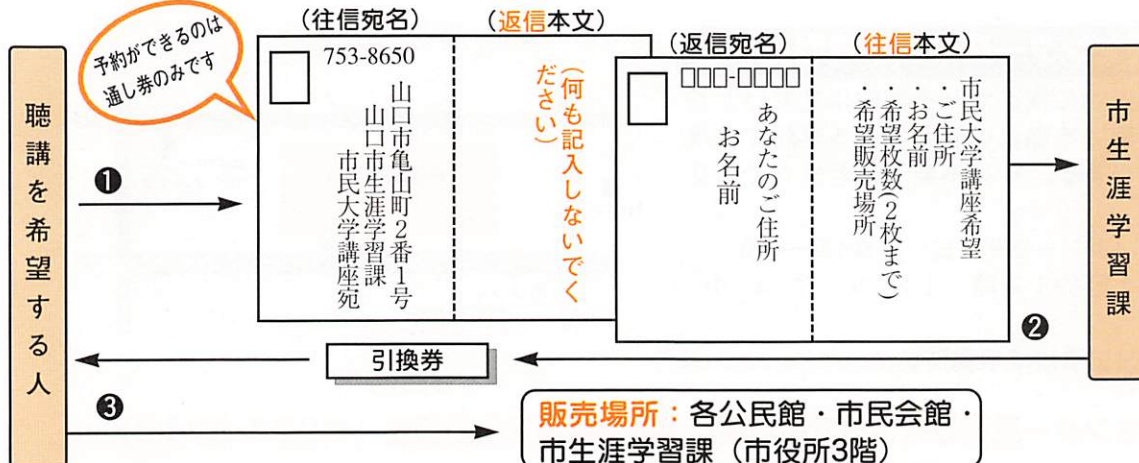
この期間中に購入されない場合は予約無効となります。期間終了後、引き替えられなかった通し券は、市生涯学習課(市役所3階)で販売します。

★当日券 800円

講演当日の午後6時10分から会場入り口で販売します。販売を行わないことや、途中でうち切ることがありますので、お問い合わせください。

◇問い合わせ 市生涯学習課(☎934-2865) 当日の午後以降は(☎090-4575-1088)へ

1088)へ



『日頃の備え』と『早めの避難』が合い言葉！！

【土砂災害防止月間】  
6月1日～30日



土砂災害の現場

梅雨を迎え、長雨や集中豪雨による災害が起こりやすい季節となりました。

昨年は、市内においても数件の土砂災害が発生し、特に、滝町では一時住民避難があったことは記憶に新しいところです。

雨が降り続くと予想される場合は、気象情報等に注意し、非常時に備え適切な準備をしておくことが大切です。

また、次のような現象を察知した場合は、土砂災害が起こる可能性がありますので、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

※土砂災害の前触れ

- ◇雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ◇山鳴りがする
- ◇小石がパラパラ落ちてくる
- ◇沢や井戸の水が濁る
- ◇斜面から水が噴き出す
- ◇川が濁り流木が混ざる
- ◇地面にひび割れができる

◎市土木課（☎934-2837）に「土砂災害110番」を設置しております。なお、夜間・休日は☎922-4111まで。



死亡した親の  
固定資産の評  
価証明

Q 私の父親が今年の1月に亡くなり、相続の手続きで山口市に父親が持っている固定資産の評価証明が必要になったのですが、どのような手続きをすれば証明をとることができますか。

A 市課税課または最寄りの出張所で証明書を発行しますので、死亡日時時点で住民票の世帯が一緒の場合は、印鑑または免許証など本人確認ができるものをお持ちの上、申請書に記入してください。

また、住民票の世帯が別々の場合は、お父さんが亡くなられた死亡事由が記入してある戸籍謄本と、相続関係（親子関係）が分かる書類（戸籍謄本等）もお持ち下さい。  
※市課税課では、次の証明書を発行しています。

- ・所得、課税証明
- ・納税証明（市県民税、固定資産税、法人市民税、軽自動車税）
- ・固定資産評価証明

なお、申請の際には、印鑑または免許証等をお持ち下さい。代理人の方が申請される場合は、委任状も必要です。

◇問い合わせ先 市課税課管理担当（市役所1階 ☎934-12734）



国民健康保険の  
手続き

Q 山口市の国民健康保険（国保）に加入していましたが、就職して職場の健康保険に加入しました。国民健康保険の手続きが必要ですか。

A 国保加入者が国保以外の保険に加入した場合、国保を脱退する届け出が必要です。14日以内に市役所または最寄りの出張所で手続きをしてください。

なお、届け出をしないと国民健康保険料の請求がいつまでもあり、知らずに保険料を二重に支払ってしまうことがあります。

また、職場の保険に加入後も、国民健康保険証が手元にあると、うっかりそれを使って診療を受けてしまうことがあります。このようなときは、国保で負担した医療費を後で返していただくことになります。こういったトラブルを防ぐためにも、届け出はお早めにお願います。

※手続きに必要なもの

- ・職場の健康保険証
- ・山口市の国民健康保険証
- ・印鑑

◇問い合わせ先 市保険年金課（市役所1階 ☎934-12801）



この賞を私の原点として励んでいきたい

第7回中原中也賞受賞者

ひわさとこ  
日和聡子さん



日和聡子さん（1974年9月27日生まれ、東京都在住）  
詩集「びるま」で第7回中原中也賞を受賞。出身地島根県邑智郡邑智町で、高校卒業までを過ごす。

詩集「びるま」は、日和さんが4年程前から書き溜めていた詩をまとめたもので、私家版として出版したものが今回の受賞となりました。「何とか一つの形にしたい」と試行錯誤を重ねた時期が長かったので、今回このような大きな賞をいただいで大変ありがたくうれしく思っています」と日和さん。

■「明るさ、寂しさ、悲しさ、切なさ」といった中での詩の世界に共感

「もともと読んでいたりすることが好きでした」という日和さんが中也と出会ったのは小学生のとき。「たまたまテレビから流れてきた『別離』の朗読を聞いたのが最初です。中也の詩の中にある『明るさ、寂しさ、悲しさ、切なさ』といった世界に魅力を感じています。自分の詩の中に、何か中也の詩に通じるものがあるとすれば、そういった点にあるのかもしれない」と話します。

■選考にあたってはユーモアという点が評価されましたが：

「私の詩は、現実にはない生き物や人物などを表現し、ナンセンス、荒唐無稽ともとられるんですが、私自身の

中にある、作り事でない本当のことを言葉で表現したもので、自然の流れてくるもの、そうしたものを常に書き留めておく。そして、それらがいったん頭の中でシャッフルされ、例えば、詩というそれぞれの言葉が意味をもった形で出力されているといえます。「笑わせようとか、おもしろおかしく書く」として書いているのではなく、自分が本当だと思ふところを突き詰めて書いています。それが結果としてユーモアという点で評価してもらえたんですね」。

■この賞を私の原点として、これからも励んでいきたい  
今回の詩集「びるま」については、「私の中に、ある世界があつて、これを表現するには詩という形が一番あつていたんです」と日和さん。「だからといって詩という形にこだわっている訳ではありません。表現にもいろいろな方法がありますから、これからは試行錯誤を続けながら文学の世界で励んでいきたいと思っています。今回の受賞は私自身の励みにもなるし、私の原点として振り返る賞になると思っています」と話してくれました。

山口のんた情報（山口ケーブルテレビ）

午前7時50分（水・土）、午後零時20分（火・金）、午後6時25分（月・木・日）、午後10時30分（水・土）から20分間

○1日～15日「合志新市長にインタビュー」

○16日～30日「仕事も子育ても両立！川口裕子さん（陶芸家）」

わたしたちのまち山口（テレビ山口）

毎週日曜日、午前11時40分から4分間



6月の放送  
予定です

○2日・9日「合志新市長にインタビュー」

やまぐちしま専科（山口朝日放送）

毎週水曜日、午後1時55分から4分間

○5日「梅雨の季節、出し忘れたゴミどうする？」

○12日「『さぼらんて』活用術」

○19日「栗林和彦の緑のさんぽ道」

○26日「人材マップでふるさと発見」



山口市リサイクルプラザ  
☎ 927-7122 ☎ 927-7133  
<http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/>  
開館時間 午前9時から午後5時  
資源物の受け付け  
午前9時から午後4時30分  
月曜と祝休日の翌日はお休みです

## ステーションの分別状況調査

# 指導員にお話を聞きました

市内に約600カ所ある資源物ステーション。宮野・中恋路自治会ではプラスチック製容器包装の分別収集の日も指導員が立たれ、ごみの減量に積極的に取り組んでいます。エコ倶楽部では、中恋路のプラスチック製容器包装の分別収集の日資源物ステーションへ見学に行きました。この日は、連休をはさんでいたため、いつもより多くの資源物が出ていましたが、指導員の方のわかりやすい説明と市民のみなさんの協力で、正しい分別収集が行われていました。

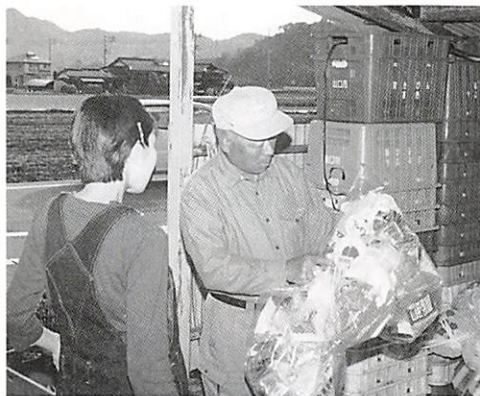
**わかりやすい指導で、正しい分別が行われています**

「今日もだいたい朝6時くらいからステーションに立っています。今では、袋を持ち上げただけで異物が入っているのがわかります」とニコニコ話してくれるのは、宮野中恋路ステーションで分別収集の排出指導をしている藤原敏一さんです。昨年から自治会の美化委員となり、分別収集がある日（1カ月に約10日）はパッカー車が回収にくる時間まで指導にあたっています。

プラスチック製容器包装の分別収集が始まって1年。最近の状況が藤原さんにかがいました。

「最初は、洗っていないものも多く、みんなプラスチック製容器包装がどんなものかとまどっていました。最近では、分別のルールを守っている人がほとんどです」と話します。

取材した日は、中身の残っているものや、資源物ではなくごみ感



覚で出している人がいましたが、藤原さんのわかりやすい説明に市民も納得。「以前注意した人が次の分別収集からは素晴らしいくらいに分別してきた時はうれしいですね」と笑顔で話します。藤原さんがこの日見つけた異物は、ごみ袋（大）に3分の1程度でした。藤原さんたちの熱意により中恋路の人たちは分別収集に熱心に取り組んでいます。

**プラスチック製容器包装の分別ここをチェック！**

「ビニールの荷造りひも」「クリーニング袋」は、プラスチック製容器包装ではないので、燃やせないごみに出しましょう。商品が入っているものは、中身を使い切るか、洗って出しましょう。汚れたものや濡れたものを入れるとカビなどが発生し悪臭の原因になります。

リサイクルの第一歩は家庭からです。分別収集は、何より家族全員の理解と協力が必要になります。家族一人ひとりが責任をもって正しい分別を実践しましょう。（企画 やまぐちエコ倶楽部）

### ■ 6月のリサイクルアイデア講座（午前10時～正午） 《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

フラワーアレンジメント	1 (土)	牛乳パック工作	8 (土) 22 (土)
和服のリフォーム	4 (火) 11 (火)	布遊び	8 (土) 22 (土)
モラの手法を使った小物づくり	4 (火)	トールペインティング	12 (水) 26 (水)
パッチワーク (初級)	5 (水) 22 (土)	パッチワーク (中級)	12 (水) 26 (水)
さき織り	6 (木) 13 (木) 20 (木) 27 (木)	余り布でつくるコサージュ	13 (木)
洋服のリフォーム	6 (木) 20 (木)	毛糸のリサイクル	14 (金) 28 (金)
押花のリサイクルアート	6 (木)	※トールペインティング 午前9時30分～正午	
ネクタイでベスト、小物作り	14 (金) 21 (金) 28 (金)	※パッチワーク (初級) 22日 (土) 午後1時～3時	

### ■ 6月のフリーマーケット

◇日時 6月9日 (日) (午前9時～午後3時)

※おもちゃの病院もあります。(受付は午前10時～11時30分)

※7月のフリーマーケットは、7月14日 (日)。出店の申し込みは、6月15日 (土) からリサイクルプラザで受け付けます。出店共益費 (300円)



## 山口ふれあい館浴室営業の再開

休業中にご迷惑をおかけしましたが、5月18日(土)より山口ふれあい館の浴室の営業を再開しました。

- ◇入浴時間 午前10時20分～午後6時(6・7・8月は午後7時まで)
- ◇休館日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始(ほたる祭りのため6月1日(土)2日(日)休館)
- ◇個人使用料 100円(2階の施設使用料込)  
※タオル、飲食物等の販売はしていません。
- ◇問い合わせ 山口ふれあい館(宮野上1222 ☎923-3351)

## お知らせ

### 市農業委員会委員一般選挙日程・立候補手続き等の説明会

7月19日で任期満了となる山口市農業委員会の委員選挙が次の日程で行われます。

◇告示 6月30日(日)

◇投票日 7月7日(日)

◇立候補手続き等の説明会

◇説明会日時 6月20日(木)午後2時から

◇会場 第1選挙区(仁保・宮野) 宮野公民館/第2選挙区(小

鯖・大内) 大内公民館/第3選挙区(吉敷・大歳・平川・山口)

市選管事務局/第4選挙区

### 「山口県都市計画基本方針」案に対する意見の募集

県では都市計画に関する県の統一、総合的な考えを示す「山口県都市計画基本方針」の策定をすすめています。これまでの検討状況をまとめた案を公表しますの、意見をお寄せください。※意見に対する個別回答はしません。

◇募集期間 6月17日(月)～7月16日(火・必着)

◇閲覧方法 文書閲覧場所: 県

都市計画課・市都市計画課・県情報公開センター・県民相談室 県ホームページ: <http://www.pref.yamaguchi.jp>

◇意見提出方法 郵便、FAX、

電子メール(〒住所、氏名を明記)で県都市計画課へ(〒753-8501滝町1-1 ☎933-3749Eメール

3-3749Eメール [a18400@pref.yamaguchi.jp](mailto:a18400@pref.yamaguchi.jp))

◇問い合わせ 県都市計画課

(☎933-3725) / 市都市計画課(☎934-2831)

◇問い合わせ 市選挙管理委員会(☎934-2877)

(陶・鑄銭司) 鑄銭司公民館/第5選挙区(名田島・秋穂二島) 二島公民館/第6選挙区(嘉川・佐山) 佐山公民館

## 「子育て=心のストレッチ事業」参加者募集

親子のふれあいづくり、  
子育ての仲間づくりしませんか

	日時	内容	場所	託児
①	6月18日(火) 10:00～	わくわくドキドキ表現あそび (表現遊びのワークショップ)	サンフレッシュ 山口(予定)	
②	7月11日(木) 10:00～	子育て=リラックストーク (今の自分に自信もてる講演会)	大殿公民館	有
③	9月26日(木) 18:30～	ようこそ!人形劇で楽しむエリックカールの世界へ (海外の人形劇を親子で鑑賞)	ば・る・る プラザ山口	
④	10月中旬 11:00～	きょうはゆっくりランチタイム (レストランでゆっくり食事を)	市内レスト ラン(未定)	有

### いずれも

- ◇対象 1～3歳児とその親30組(先着順)
- ◇参加費 3000円(1組全回通し)※④は実費必要
- ◇応募条件 原則全ての企画に参加できること
- ◇申し込み 郵便またはFAX(〒住所、親子の氏名、子どもの年齢、電話番号を明記)でNPO法人子どもステーション山口(〒753-0074中央5-1-30 ☎ ☎925-1486)へ

親子で気軽に立ち寄ってみませんか

子育てほっとステーション「ぴーかぶう」

- 日時 毎週月曜日 10:00～13:00 ●参加費 無料
- 場所 子どもステーション山口 ※申し込みはいりません

## 解体工事等を行う場合の届け出

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」の施行により、特定建設資材<sup>\*</sup>を用いた一定規模以上の建設工事について「分別解体」と「リサイクル」を行うことが義務づけられました。これにともない、発注者は対象建設工事着手7日前までに事前届け出が必要となります。なお、この届け出や分別解体等をおこたると罰則を受けます場合があります。

※特定建設資材 ①コンクリート②コンクリートおよび鉄から成る建設資材③アスファルト・コンクリート④木材

### ●対象建設工事

工事の種類	工事の規模
建築物の解体	80㎡以上
建築物の新設・増築	500㎡以上
建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	1億円以上
その他工作物に関する工事(土木工事等)	500万円以上

### ●届出・問い合わせ先

市開発指導課(☎934-2847)  
山口土木建築事務所(☎922-1070)  
県土木建築部監理課技術管理室(☎933-3636)

## 平成14年度山口・小郡地域 広域水道企業団職員採用試験

- ◇受付期間 6月30日(日・必着)まで
- ◇受験申込書の請求 受験申込書は、山口・小郡地域広域水道企業団庶務係、市役所受付、各出張所、小郡町水道課、秋穂町町民課、阿知須町生活環境課にあります。申込書の郵送を希望する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先明記の返信用封筒(角形2号くA4版)に120円切手を貼って同封してください。
- ◇申し込み 山口・小郡地域広域水道企業団庶務係(〒753-0871朝田28 ☎922-0311)

### 【1次試験】

- ◇期日 7月28日(日)
- ◇場所 山口市役所第10会議室

試験職種	採用予定人員	受験資格
大学卒業程度 化学(水質検査技師)	1人程度	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人または平成15年3月末日までに卒業見込みの人

## 平成14年度山口市職員採用試験

- ◇受付期間 6月3日(月)～6月28日(金・消印有効)
- ◇受験申込書の請求 受験申込書は、市職員課(市役所2階)、市役所受付、各出張所、市水道局にあります。申込書の郵送を希望する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、あて先明記の返信用封筒(角形2号くA4版)に120円切手を貼って同封してください。
- ◇申し込み 市職員課(〒753-8650亀山町2-1 ☎934-2727)
- 【1次試験】
- ◇期日 7月28日(日) ※行政職は29日(月)もあります。
- ◇場所 山口県立大学

試験職種	採用予定人員	受験資格
大学卒業程度 行政	7人程度	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成15年3月末日までに卒業見込みの人、または高等専門学校専攻科を修了し学位の授与を受けた人もしくは平成15年3月末日までに授与を受ける見込みの人
大学卒業程度 土木	2人程度	昭和46年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成15年3月末日までに卒業見込みの人、または高等専門学校専攻科を修了し学位の授与を受けた人もしくは平成15年3月末日までに授与を受ける見込みの人
大学卒業程度 建築	1人程度	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に規定する大学(短期大学を除く)を卒業した人もしくは平成15年3月末日までに卒業見込みの人、または高等専門学校専攻科を修了し学位の授与を受けた人もしくは平成15年3月末日までに授与を受ける見込みの人
専門職 保健師	1人程度	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、保健師免許を有する人または平成15年3月末日までに取得見込みの人

- ◇日時 6月19日(水) 午後1時30分～4時
- ◇場所 山口森林ふれあいセンター 1(大内長野1978)
- ◇内容 乾椎茸出品物の展示など
- ◇問い合わせ 県椎茸農業協同組合(☎928-0336)

### 第48回山口県椎茸品評会

- ◇期間 6月4日(火)～6月10日(月) ※日曜日は除く
- ◇場所 山口県下の歯科医院(事前申し込み必要)
- ◇対象者 県民
- ◇料金 無料
- ◇問い合わせ 県歯科医師会(☎928-8020)

### 「歯の衛生週間」の 無料口腔健診・相談の実施

- ◇期間 6月4日(火)～6月10日(月) ※日曜日は除く
- ◇場所 山口県下の歯科医院(事前申し込み必要)
- ◇対象者 県民
- ◇料金 無料
- ◇問い合わせ 県歯科医師会(☎928-8020)

### 企業の統計調査にご協力ください

「平成14年経済産業省企業活動基本調査」を実施します。これは企業における経済活動を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。提出された調査内容の秘密は厳守されます。調査にご協力ください。

総務企画部調査課(☎082-224-5633)



山口市民活動支援センター

## さぼらんての講座

ラッピング講座

リサイクル編

「いつか使えるかも!」と思いつつ、たまっていく捨てがたいひもや包装紙。それらを利用するラッピング講座を開催します。木の実なども使って真心のこもったラッピングをしてみませんか。

- ◇日時 6月13日(木) 午後1時30分～3時
- ◇場所 さぼらんて
- ◇講師 戸井知津子氏
- ◇募集人数 約15人(先着順)
- ◇申し込み 6月10日(月)までに電話、FAX、Eメール(氏名、託児希望の場合は子どもの年齢を明記)でさぼらんてへ。

### さぼらんてHP作成ボランティア募集!!

- 8月の開設を目指して一緒にホームページを作ってみませんか。
- ◇対象 HP作成の技術・経験のある方
- ◇募集締め切り 6月30日(日)

山口市民活動支援センター さぼらんて  
〒753-0047道場門前1-2-19  
☎901-1166 ☎901-1165  
Eメール saporant@c-able.ne.jp



### おい！ぼくがみえるー？

地上から17メートルの高さのはしご車体験。子どもたちは楽しんだかな？びっくりしたかな？でも、消防士はこの高さでお仕事するんですからすごい！



### 君も未来の警察官？

白バイにまたがり真剣な表情。未来の警察官を思わせます。



### 青空に向かって！ 元気な声で「わー！」

大声の競争です。さあ、誰が一番元気がいいかな。



さあ！自分より高くつめるかな  
空き缶積みチャレンジ。グラグラしてもあわてないで。



### みんなで呼吸を合わせて、それ！

一緒に長縄跳びを楽しむ子どもたち。遊びといえども真剣です。

### 子どもはみんな元気いっぱい！

維新公園には、子どもたちの「元気!!」がいっぱいあふれていました。

